



がっこうとしょかんだより 3月号

家庭数

平成30年 3月7日
桜木小学校学校図書館



3月6日の啓蟄をすぎ、学校は卒業生を送る季節になりました。

3学期ものこりわずかです。貸し出しは**3月6日(火)**で終わりました。図書館は蔵書整理にはいります。借りている本は、**3月13日(火)**までにすべてかえしましょう。



桜木小学校学校図書館の1年

4月、2年生以上の全クラスに図書館の使い方について、ガイダンスをしました。3年生以上のお友だち



は、返した本を正しい書架に戻すようお願いしました。図書館の仕組みを知って上手に利用してほしいと思います。5月のゴールデンウィークが終わるまでの「**こども読書週間**」には、2冊貸し出しを実施し、「今年もいっぱい読もうね」とみんなに声をかけました。



「**さくらぎの日**」は、好評なので今年も引き続き実施しました。さくらぎの「さ」と「く」

で3と9のつく日は2さつ借りられるというものです。

学校探検で、めずらしそうに図書館を見に来ていた1年生は、「**図書の間**」には、うれしそうに本をえらんでいました。なかなか決められない子もいましたが、先生やお友だちと相談しながら、だんだん選ぶのがじょうずになっていきました。お友だちが返した本が並んでいるブックトラックから選ぶ子どももたくさんいます。お友だちが読んだ本はおもしろいと思うのでしょね。

6月、「**つゆのスタンプラリー**」の参加者は、図書委員手作りのしおりをもらいました。今年から集める



だけで使わないお友だちが多かった**ぷらすわんチケット**をやめて、貸し出しの時に使う利用カードにシールをはることにしました。シールのあるお友だちは、学期の最後までいつでも2冊かりられるという特典があります。2冊借りるお友だちが増えました。夏休みの**特別貸し出し**では、好きな本を7冊選んで借りていきました。夏休みを利用して、先生方のご協力のもと蔵書点検をしました。

10月、11月「**秋の読書月間**」では、図書委員が図書館案内やクイズ、ビブリオバトルなどの発表をビデオでしました。図書館ではお友だちや先生方のおすすめの本を展示し、特別貸し出しや、「スタンプラリー」をやりました。賞品として図書ボランティアの方々に、すてきなしおりを用意していただきました。1学期と同じように、シールもプレゼントしました。全員におすすめの本を書いてもらって各教室にはりだしました。読み聞かせボランティアさんには全クラスの読み聞かせをしていただきました。冬休みにも**3冊貸し出し**をしました。

2月、「今年何冊借りたかな」とパソコンで確認するお友だちもいます。100冊以上の人が何人にもなりました。図書館クイズに正解してシールをもらって、2冊借りていく子もいました。

この1年間で、2月末までに、**29,081冊**貸し出しました。

図書館は、調べ学習をする場所でもあります。今年は、話題のぞんねんないきもの、せつない動物図鑑、意外と人気のある岩石鉱物の図鑑等を購入しました。

3年生の大宮の学習のために校長先生が、鉄道博物館でパンフレットを集めてくれました。郷土資料はまだ少ないのですが、少しずつ充実させたいと思います。

この1年で約**400冊**購入し、**60冊**寄贈していただきました。現在蔵書数は約**12,800冊**です。



図書ボランティアの方々には、図書館の活動にたくさんご協力いただきました。



読み聞かせボランティアは、保護者ボランティアと地域ボランティアの方が一体となって活動していただきました。月1回木曜日の朝、1年生から4年生とさくらんぼの教室で、楽しい絵本や、大型絵本、すばなしなどそれぞれに持ち味をいかして、子どもたちを笑顔でいっぱいにしました。読書月間には5年生と6年生にも読み聞かせをしていただきました。来年度、新しい方の参加募集中です。



環境ボランティアの方々には、1学期は「せかいのおはなし」の掲示を作っていただきました。2学期は、「読書月間」のためのしおり作り。今年は、ポケモン

のキャラクターを折り紙でおる力作とおしゃれなしおりでした。3学期は、低学年の学級文庫を整備していただきました。1年間ありがとうございました。

桜木小学校の子どもたちの使いやすい図書館、たのしい図書館のためにこれからもよろしくおねがいします。

卒業おめでとう

卒業生のみなさんへ



皆さんは、桜木小学校の図書館で、どんな本とであったのでしょうか？
これからの3年間は、今までの6年間以上にたくさんのお本との出会いがあると思います。
たくさんのお本を読んだみなさんが、心にいっぱい栄養をとって、やさしい、あたたかな「ひと」になるように桜木小学校の図書館からエールを送ります。

しゅっぱつ
出発

すぎもとみゆき
杉本深雪

はる 春は 不思議だ
くさきの 草木の芽を
ひとつのこらず
み 見つけ出すんだもの

ぼくのこころの
おくふか 奥深くに埋めていた
たね 種子だって

ぼくは こいつを
『ジャックと豆の木』のような
おおき 巨きな木にしよう
その木をつたい
どこまでも のぼっていこう

いま
今なら できる

「杉本深由紀詩集 いつだってスタートライン」理論社より

